

## 中項目ごとの検証・確認における論点整理等

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

## 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

項目 No.	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																															
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																														
01	<b>8 メディカカードの導入などのITの活用</b> 心臓疾患の患者向けにメディカカードを発行し、救急医療現場での活用を図る。	<b>8 メディカカードの導入などのITの活用</b> ・救急医療現場での活用を図るため、心臓疾患の患者にメディカカードの作成を勧めた。(平成29年度末現在の発行枚数は12枚) また、深夜帯の救急外来において、外部(海外)の放射線専門医による画像コンサルテーションが受けられるよう、システム環境の構築を行った。(平成30年度運用開始予定)	IV		海外の放射線専門医による画像診断コンサルテーションの環境整備については評価できる。今後、当直医の負担軽減等、効果の検証に期待する。																														
02	<b>3 医療に関する相談体制の充実</b> 総合相談センターに相談担当者が常駐する相談窓口を設置し、関係部署との連携を図り、診療内容、在宅支援、苦情、就労支援をはじめあらゆる相談に迅速に対応可能なシステムを整える。 また、毎週、カンファレンスを開催し、問題事項についてスタッフ間で協議する。 提案箱も含め、意見、苦情に対して積極的に対応し、内容を公表していく。 院内の外国語表示を増やすとともに、各国語に対応できる通訳体制を充実させる。 特に、がん診療連携拠点病院としてのがん相談支援センター機能を充実させ、がん相談件数の増加を図る。	<b>3 医療に関する相談体制の充実</b> ・毎週木曜日にカンファレンスを開催し、医療相談に係る問題事項についての協議を行った。 ・外国人の受診を支援するため、県国際交流センターに医療通訳ボランティアの派遣を引き続き依頼するとともに、職員による対応を行った。特に職員による対応件数が増加した。  ○医療相談件数 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,687</td> <td>4,914</td> <td>4,794</td> </tr> </tbody> </table> ○カンファレンスで協議した事項及び件数 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院の環境</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>患者等からの相談</td> <td>32</td> <td>28</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>患者相談対応力向上のための事例検討</td> <td>7</td> <td>17</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>患者等からの苦情</td> <td>40</td> <td>39</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>22</td> <td>12</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> ○医療通訳病院職員対応件数 単位：件	H27	H28	H29	4,687	4,914	4,794	項目/年度	H27	H28	H29	病院の環境	5	3	3	患者等からの相談	32	28	18	患者相談対応力向上のための事例検討	7	17	8	患者等からの苦情	40	39	52	その他	22	12	24	IV		医療通訳業務専門職の雇用等、外国人の受診支援体制の充実の評価できる。
H27	H28	H29																																	
4,687	4,914	4,794																																	
項目/年度	H27	H28	H29																																
病院の環境	5	3	3																																
患者等からの相談	32	28	18																																
患者相談対応力向上のための事例検討	7	17	8																																
患者等からの苦情	40	39	52																																
その他	22	12	24																																

項目 No.	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中国語</td> <td>145</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>255</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>スペイン語、他</td> <td>227</td> <td>383</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>627</td> <td>788</td> </tr> </tbody> </table> <p>※雇用 H28. 4:1 人 (非常勤事務職) → H29. 10:1 人 (医療通訳業務専門職)</p> <p>○医療通訳ボランティア派遣件数 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポルトガル語</td> <td>258</td> <td>184</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>タガログ語</td> <td>50</td> <td>28</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>331</td> <td>212</td> <td>253</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H28	H29	中国語	145	205	英語	255	200	スペイン語、他	227	383	合計	627	788	項目/年度	H27	H28	H29	ポルトガル語	258	184	205	中国語	23	0	0	タガログ語	50	28	48	合計	331	212	253			
項目/年度	H28	H29																																						
中国語	145	205																																						
英語	255	200																																						
スペイン語、他	227	383																																						
合計	627	788																																						
項目/年度	H27	H28	H29																																					
ポルトガル語	258	184	205																																					
中国語	23	0	0																																					
タガログ語	50	28	48																																					
合計	331	212	253																																					
03	<p><b>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</b></p> <p>地域の医療機関、福祉施設をつなぐ架け橋として、患者やその家族が安心して医療が受けられる地域に開かれた「地域医療支援病院」としての機能を果たす。そのため、「地域医療連携センター部」(「病診連携部」、「退院サポート部」、「連携パス部」)、「総合相談センター」(「なんでも相談室」)の機能をさらに充実させ、患者動向や医療需要も把握し、診療体制の整備・充実を図る。</p> <p>また、時間外にも病診連携部での診療予約を継続し、患者や地域医療機関の利便性を高める。</p>	<p><b>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者動向や医療需要の変化に対応した組織改編等に積極的に取り組んだことにより、患者に対してよりきめ細やかなサービスを提供することができた。</li> <li>・認知症看護認定看護師を採用し、認知症ケアセンターを整備することで、平成29年7月1日に「認知症ケア加算1」を取得した。</li> </ul> <p>○組織・診療科等の新設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○消化器病センターの再編 <ul style="list-style-type: none"> <li>・胆膵内科の新設</li> <li>・内視鏡治療部を内視鏡部へ統合</li> </ul> </li> <li>○認知症ケアセンターの新設</li> <li>○中央放射線部の再編 <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療支援画像センター及び高次元放射線治療センターの新設 (放射線診断部門と放射線治療部門の分離)</li> </ul> </li> </ul>	IV		認知症ケア加算1の取得は評価できる。病棟における対応力とケアの質のさらなる向上に期待する。																																			
04	<p><b>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</b></p> <p>当センターと地域医療機関がそれぞれの特性を生かしながら機能分担し、患者が病状に即した医療を受診できるよう地域全体で協力し、ケアしていくため、「地域医療支援病院」として、さらなる紹介率の向上(70%以上)、及び逆紹介率の向上(90%以上)を目指すことで、地域の医療機関との連携及び協力体制の更なる充実を図る。</p>	<p><b>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介率・逆紹介率について、年度計画(紹介率70%以上、逆紹介率90%以上)の目標を達成し、地域医療支援病院として、地域医療の中核機能を果たした。</li> <li>・開放型病床登録医療機関及び登録医師数の拡大を目指し、新規に開設した医療機関に対する働きかけを行った。</li> </ul> <p>○紹介率・逆紹介率 単位: %</p>	IV		紹介率、逆紹介率のさらなる向上は評価できる。																																			

項目 No.	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																																																																						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>				自己 評価	論 点  検 証 (案)																																																																																					
	また、各医療機関を定期的に訪問することにより、開放型病床登録医療機関及び登録医師数のさらなる拡大や紹介患者数の増加を目指し、「病病連携」や「病診連携」を強力に推進する。	項目／年度	H27	H28	H29																																																																																							
		紹介率	64.1	72.3	75.3																																																																																							
		逆紹介率	84.2	94.1	99.2																																																																																							
05	<p><b>3 母と子ども医療センター(周産期医療)</b></p> <p>産婦人科系関係各診療科・総合周産期部と新生児医療センター(新生児内科)を基幹として、各科の枠を超えた母と子どもの総合的な高度医療を提供する。</p> <p>新生児医療センターでは専用のドクターカー(すこやか号)により、他病院・医院で出産した未熟児をはじめとする新生児疾患患者を医師同乗で搬送・入院することで、後遺症なき発育を目指す。</p> <p>また、各センター等の充実を図ることで、より高度なチーム医療を目指す。</p> <p>県下全域に影響が危惧される事案が発生した場合には、県及び岐阜県周産期医療協議会等へ報告するとともに連携し協力体制を整える。</p>	<p><b>3 母と子ども医療センター(周産期医療)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児センター機能とハイリスクの妊産婦等の医療機能などを統合し、産婦人科と小児科の枠を超えた高度医療を提供した。特に、合併症妊娠や異常妊娠、多胎妊娠、産褥異常、胎児異常等の患者の診療を行った。</li> <li>・当院を受診されている妊婦だけではなく、緊急母体搬送で送られてくるハイリスク妊婦を24時間態勢で受け入れた。</li> </ul> <p>○母体搬送の受入件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体搬送</td> <td>111(9)</td> <td>86(7)</td> <td>134(7)</td> </tr> <tr> <td>救急搬送</td> <td>23</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※( )はヘリコプター搬送《内数》</p> <p>○産科合併症 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>早産</td> <td>82</td> <td>78</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>PIH</td> <td>43</td> <td>35</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>常位胎盤・早期剥離</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>胎盤位置異常</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>羊水の異常</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>胎児異常</td> <td>36</td> <td>32</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>IUGR</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table> <p>○合併症妊娠 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>婦人科系疾患</td> <td>69</td> <td>54</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>心・血管疾患</td> <td>60</td> <td>59</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>血液疾患</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>腎疾患</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>糖尿病・妊娠糖尿病</td> <td>26</td> <td>21</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>甲状腺疾患</td> <td>27</td> <td>21</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>自己免疫・膠原病</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>呼吸器疾患</td> <td>32</td> <td>21</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>消化器疾患</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>精神・神経系</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	H27	H28	H29	母体搬送	111(9)	86(7)	134(7)	救急搬送	23	6	5	項目／年度	H27	H28	H29	早産	82	78	114	PIH	43	35	23	常位胎盤・早期剥離	10	12	11	胎盤位置異常	18	20	28	羊水の異常	6	15	7	胎児異常	36	32	33	IUGR	10	5	32	項目／年度	H27	H28	H29	婦人科系疾患	69	54	69	心・血管疾患	60	59	59	血液疾患	3	2	4	腎疾患	3	5	8	糖尿病・妊娠糖尿病	26	21	23	甲状腺疾患	27	21	29	自己免疫・膠原病	2	3	3	呼吸器疾患	32	21	27	消化器疾患	5	6	6	精神・神経系	20	25	10	IV	<p>総合周産期母子医療センターとして、リスクの高い妊婦に対する医療や高度な新生児医療の提供等、周産期医療の充実が評価できる。</p>
項目／年度	H27	H28	H29																																																																																									
母体搬送	111(9)	86(7)	134(7)																																																																																									
救急搬送	23	6	5																																																																																									
項目／年度	H27	H28	H29																																																																																									
早産	82	78	114																																																																																									
PIH	43	35	23																																																																																									
常位胎盤・早期剥離	10	12	11																																																																																									
胎盤位置異常	18	20	28																																																																																									
羊水の異常	6	15	7																																																																																									
胎児異常	36	32	33																																																																																									
IUGR	10	5	32																																																																																									
項目／年度	H27	H28	H29																																																																																									
婦人科系疾患	69	54	69																																																																																									
心・血管疾患	60	59	59																																																																																									
血液疾患	3	2	4																																																																																									
腎疾患	3	5	8																																																																																									
糖尿病・妊娠糖尿病	26	21	23																																																																																									
甲状腺疾患	27	21	29																																																																																									
自己免疫・膠原病	2	3	3																																																																																									
呼吸器疾患	32	21	27																																																																																									
消化器疾患	5	6	6																																																																																									
精神・神経系	20	25	10																																																																																									

項目 No.	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証		
		・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●)			自己 評価	論 点	検 証 (案)
		運動機能系	0	0	2		
		○ハイリスク妊婦・分娩等 (対象者) 単位：件					
		項目／年度	H27	H28	H29		
		総合周産期加算	230	206	230		
		ハイリスク妊娠	25	46	48		
		ハイリスク分娩	18	18	21		
		救急加算	123	88	131		
		○保健指導実績 単位：件					
		項目／年度	H27	H28	H29		
		保健指導	1,024	868	921		
		母乳相談	140	127	151		
		＜新生児医療センターの運営＞					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 28 年度に実施した病棟の拡張工事完了後、重症患者にも余裕を持った診療環境が確保できている。</li> <li>母体搬送の増加以上に院内出生入院数が大幅に増加した。</li> <li>極低出生体重児入院数も増加した。</li> <li>院外出生児の入院数も増加した。</li> <li>専用のドクターカー (すこやか号) により、医師同乗で未熟児をはじめとする新生児疾患患者の搬送を行った。</li> </ul>					
		○出生、母体搬送件数 単位：件					
		項目／年度	H27	H28	H29		
		院内出生	136	115	181		
		院外出生	63	73	98		
		母体搬送	62	48	84		
		超低出生体重児	27	23	25		
		極低出生体重児	39	40	52		
		○新生児手術状況 単位：件					
		項目／年度	H27	H28	H29		
		小児心臓外科	9	3	9		
		小児脳神経外科	7	5	4		
		小児外科	14	16	12		
		耳鼻科(気管切開)	0	1	1		

項目 No.	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																				
10	<p><b>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援</b> へき地医療拠点病院として、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への人的支援を継続して実施する。</p> <p><b>3 へき地医療対策の支援</b> 岐阜県との間で岐阜県へき地医療支援機構の運営に係る業務委託契約を締結した上で、へき地医療機関等からの代診要請に積極的に対応し、診療支援等の人的支援を行う。 さらに、新医師臨床研修制度における地域・保健プログラムやその他新規プログラムに積極的に参加するとともに、へき地医療機関と連携し、研修の動機付け・総括等、研修医のへき地医療研修支援を行う。へき地医療等を志向する後期研修医及びへき地勤務医の研修等は、地域医療部を所属の場として活用し、各科の横断的研修等を行う。 また、当センターは、平成30年度から開始される新専門医制度において、内科領域における教育基幹施設としての役割を担う予定であり、へき地医療機関との連携を含めた専門医研修プログラムの作成を行う。</p>	<p><b>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援</b> ・県立下呂温泉病院や高山赤十字病院等に対して、診療上の人的支援を行った。特に、高山赤十字病院に対する人的支援が増加した。</p> <p>○他の医療機関への人的支援の状況 (延べ人数) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む)</td> <td>609</td> <td>623</td> <td>629</td> </tr> <tr> <td>高山赤十字病院</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>378</td> </tr> <tr> <td>揖斐厚生病院</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>下呂市立金山病院</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>藤橋国保診療所 ※</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>久々野診療所 ※</td> <td>9</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>郡上市民病院</td> <td>67</td> <td>71</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>中濃厚生病院</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>久美愛厚生病院</td> <td>23</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>735</td> <td>720</td> <td>1,089</td> </tr> </tbody> </table> <p>※岐阜県へき地医療支援機構依頼分</p> <p><b>3 へき地医療対策の支援</b> ・県とへき地医療支援機構運営委託契約を締結、医師である専任担当官を配置し、へき地診療所等に対する派遣調整やへき地医療従事者に対する研修会を開催した。 ・後期研修プログラムの中に一定期間の医師不足地域での勤務を含めることで医師不足の解消を図る「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」に参加し、県立下呂温泉病院に対して後期研修医を派遣した。</p> <p>○後期研修医のへき地派遣状況 (延べ人数) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機関名・年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院</td> <td>303</td> <td>313</td> <td>312</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む)	609	623	629	高山赤十字病院	12	12	378	揖斐厚生病院	1	1	—	下呂市立金山病院	12	12	12	藤橋国保診療所 ※	—	1	—	久々野診療所 ※	9	—	—	郡上市民病院	67	71	70	中濃厚生病院	2	—	—	久美愛厚生病院	23	—	—	合計	735	720	1,089	機関名・年度	H27	H28	H29	県立下呂温泉病院	303	313	312	IV		へき地医療拠点病院として、引き続きへき地医療支援の拡充を期待する。
項目/年度	H27	H28	H29																																																						
県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む)	609	623	629																																																						
高山赤十字病院	12	12	378																																																						
揖斐厚生病院	1	1	—																																																						
下呂市立金山病院	12	12	12																																																						
藤橋国保診療所 ※	—	1	—																																																						
久々野診療所 ※	9	—	—																																																						
郡上市民病院	67	71	70																																																						
中濃厚生病院	2	—	—																																																						
久美愛厚生病院	23	—	—																																																						
合計	735	720	1,089																																																						
機関名・年度	H27	H28	H29																																																						
県立下呂温泉病院	303	313	312																																																						

項目 No.	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																		
18	<b>1 レスパイトケアのための短期入所施設の整備、充実</b> 医療型障害児入所施設内の2床（空床利用）による短期入所を実施する。	<b>1 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実</b> ・平成28年7月から定員2人（空床利用型）で短期入所の受入れを開始していたが、利用者からの要望や利用率の高さを勘案し、平成29年11月に定員を2人から3人に増員した。県内の在宅で生活する重症心身障がい児・者80人と契約し、延べ712日のレスパイトケアを実施した。 ○短期入所施設の利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員</td> <td>2人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>契約者数</td> <td>76人</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>利用延人員</td> <td>118人</td> <td>181人</td> </tr> <tr> <td>利用延日数</td> <td>420日</td> <td>712日</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>76.6%</td> <td>80.8%</td> </tr> </tbody> </table> ※定員H29.11:2人→3人	項目／年度	H28	H29	定員	2人	3人	契約者数	76人	80人	利用延人員	118人	181人	利用延日数	420日	712日	利用率	76.6%	80.8%	IV		短期入所定員の増加によるレスパイトケアの拡充は評価できる。
項目／年度	H28	H29																					
定員	2人	3人																					
契約者数	76人	80人																					
利用延人員	118人	181人																					
利用延日数	420日	712日																					
利用率	76.6%	80.8%																					
23	新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施するとともに、全職員を対象とした情報セキュリティ研修も実施することにより、職員の情報セキュリティ意識の向上を図る。	・新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施するとともに、「情報セキュリティ通信」を随時発行することにより全職員への啓発を行い、情報セキュリティ意識の向上を図った。 また、情報ネットワークのセキュリティ対策、USBメモリ等のデバイス制御、メールのウイルスチェック等のセキュリティ対策の維持・管理を行った。	III	<b>評価の検討</b> <b>III→IV</b> 職員研修の実施、情報セキュリティ対策の維持管理など年度計画を上回っている。 <b>IIIのまま</b> 情報セキュリティ対策の維持・管理、全職員の意識向上について努力しており、概ね年度計画どおり実施している。	<b>「III」</b> 情報セキュリティ対策の維持・管理、全職員の意識向上について努力が伺える。																		
27	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、経常収支比率100%以上、医業収支比率100%以上（重症心身障がい児施設を除く。）及び職員給与費対医業収益比率を50%以下（重症心身障がい児施設を除く。）とすることを旨とする。	中期計画上の取組を確実に実施することで、業務運営の改善及び効率化を進めた。その結果、経常収支比率100.1%、医業収支比率104.6%、職員給与費対医業収益比率48.0%と年度計画の目標を達成した。 ○経常収支比率・医業収支比率・職員給与費対医業収益比率 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率 (%)</td> <td>99.6</td> <td>98.8</td> <td>100.1</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率 ※ (%)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>104.6</td> </tr> <tr> <td>職員給与費対医業収益比率 (人件費比率) ※ (%)</td> <td>48.4</td> <td>48.9</td> <td>48.0</td> </tr> </tbody> </table> ※重症心身障がい児施設を除く	項目／年度	H27	H28	H29	経常収支比率 (%)	99.6	98.8	100.1	医業収支比率 ※ (%)	—	—	104.6	職員給与費対医業収益比率 (人件費比率) ※ (%)	48.4	48.9	48.0	IV		経常収支比率の改善は評価できる。		
項目／年度	H27	H28	H29																				
経常収支比率 (%)	99.6	98.8	100.1																				
医業収支比率 ※ (%)	—	—	104.6																				
職員給与費対医業収益比率 (人件費比率) ※ (%)	48.4	48.9	48.0																				

項目 No.	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)
		<p>病院運営については、3 期ぶりに黒字を計上することができたものの、今後、南棟を含めた施設の整備や本館開設時に購入した医療機器の更新に伴う減価償却、老朽化に伴う建物修繕等費用の増加が見込まれるほか、平成 31 年 10 月に予定されている消費税引き上げなど、引き続き厳しい状況が続くものと予想される。</p> <p>安定的な病院運営ができるよう、今後とも経営基盤の強化と収益確保のための努力を継続していく必要がある。(●)</p>			
28	<p><b>2 職員の健康管理対策の充実</b></p> <p>病院職員の健康管理のため、地方独立行政法人化前と同程度以上の健診（定期健康診断及び人間ドック）や任意検査等（各種抗体検査や予防接種等）を実施するとともに、ストレスチェックを実施することで、メンタルヘルスにも配慮した職員の健康管理対策の充実を図る。</p>	<p><b>2 職員の健康管理対策の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下記のとおり職員の健康管理対策の充実に努めた。</li> </ul> <p>&lt;健康診断&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方独立行政法人化前と同様の一般定期健康診断に加え、非常勤職員に対しては、協会けんぽの生活習慣病予防検診を活用するとともに、人間ドックを希望する常勤職員に対しては、共済組合の助成を受けた人間ドックを実施した。</li> <li>・例年実施する放射線取扱業務等に従事する職員に加え、平成 29 年度は、3 年に 1 回実施する必要がある粉じん業務に従事する職員に対しても健康診断を実施した。</li> </ul>	IV		<p>病児・病後児保育定員の増加やインターネット予約システムの導入等、院内保育施設の充実を図ったことは評価できる。</p>